

陽の里

発行 令和3年4月15日



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター サンビレッジ
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地
TEL (0585)45-5545
URL https://www.sun-village.jp/



No.147

45

サンビレッジ新生苑 創立45周年記念

サンビレッジ新生苑創立



前列

太田名誉常務理事

今村理事長 石原名譽理事長 今村専務理事

玉城常務理事 川瀬常務理事 桑原常務理事

最後に、多くの方々の支援があり、それに応えた職員の努力により現在の新生会の発展があります。この宝を生かし、さらなる地域貢献を約束いたします。

それから45年、時代も大きく変わり元号も昭和から平成、令和へと移り、医療・介護の技術も大きく変遷しました。しかし、新生苑の入り口の岩に刻まれている、初代理事長が示した「私たちの使命」やその根幹をなす理念は、今もなおゆるぎない判断の基礎となっていることは、この45年の積み重ねすべてが無駄なくとても大きな財産であるといえます。今現在、隣地の新生病院も建て替える時期となり、飛躍の時期を向えています。私の目指す「医療と介護の融合」をまた一步進められることができた楽しみです。

私が小学校に入りたての頃、嬉しそうにしている父に連れられて訪れたサンビレッジには、当時体も小さかったこともあります、とても大きな建物がどんと構えていました。中に入ると、それぞれの設備について、父が思いを語り始めました。南向きの部屋のこだわりやおい対策の換気システム、みんながゆつたり入れる大きなお風呂。当時とても意気揚々とした父を見て私も同じ道を歩めるといいなど感じた一場面でした。



社会福祉法人 新生会
理事長 今 村 寧

45周年を迎えて

設立45周年祝辞



岐阜県知事

古田肇



一般社団法人
医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
(元・厚生労働省老健局長)

中村秀一

新生会設立45周年に寄せて

このたび社会福祉法人新生会が設立45周年を迎えられますことを、心よりお慶び申し上げます。

貴法人は、昭和51年に「サンビレッジ新生苑」として設立されて以来、高齢者福祉施設の運営・介護人材の養成を通じて、西濃地域にとどまることなく広く福祉サービスをご提供いただいたおり、深く敬意を表する次第です。

特に、本県の介護人材育成事業者認定制度の最上位「グレード1」をいち早く獲得されるなど、まさに県内の福祉関係団体を牽引する存在であります。約半世紀にわたり、これら地域に根差した高齢者福祉の推進にご貢献いただき、改めてお礼申し上げます。

加えて、未だ新型コロナウイルスにご貢献いただき、改めてお礼申し上げます。

葉とさせていただきます。

そして、その先にあるアフター

ス感染症の影響が続く中、皆様には、現場の最前線で大変にご尽力いただいております。本県としても、十分な病床・宿泊療養施設等の確保による「自宅療養者ゼロ」の堅持、クラスターが生じやすい社会福祉施設における感染拡大防止対策の徹底支援を通して、県民の皆様の生命と暮らしとともに守り抜く所存です。

特に、本県の介護人材育成事業者認定制度の最上位「グレード1」をいち早く獲得されるなど、まさに県内の福祉関係団体を牽引する存在であります。約半世紀にわたり、これら地域に根差した高齢者福祉の推進にご貢献いただき、改めてお礼申し上げます。

最後に、貴法人の益々のご発展と、関係者の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

コロナを展望し、健やかで安らかに暮らすことができる岐阜県づくりを目指してまいります。皆様には、引き続き「オール岐阜」の一員として、ご理解とご協力を

お願い申し上げます。

私は1973年に旧厚生省入省いたしましたので、以後の歩みは新生会の歴史とほぼ重なります。老人福祉課長であった90年に石原美智子さんに初めてお会いしました。したがって新生会とのお付き合いは30年になります。この間、新生会、新生メディカルの皆さんのご活躍、発展をつぶさに拝見させていただき、多くを学ばせていただきました。

最後に、貴法人の益々のご発展と、関係者の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

わが国の高齢者介護の草分け期に新生会は創設されました。当時（1975年）には、特別養護老人ホームは全国で539施設しかなく、入所者数は約4万3千人、職員数は約1万8千人でした。現在では特別養護老人

ホームは10502施設、入所者数は61万人を超え、職員数は46万人を上回り、施設数はほぼ20倍、利用者数は15倍弱、職員数は25倍超となっています。新生会のスタートが極めて早かつたことが分かりります。

この45年間、わが国の高齢化の進展は著しく、長寿化も相まって介護ニーズは大きく変化しました。当時の高齢者の姿と現在のそれとは全く違うと言つても過言ではありません。新生会の皆さんが素晴らしいのは、この変化に的確に対応し、新たな事業にも取り組み、質の高い介護サービスを地域の皆様に提供され続けてきたことです。

コロナ禍で大変な時期であります。ですが、この難局を乗り越え、さらには進化し、発展されることを期待致します。

契約特養の思い出

新生会45周年おめでとうございます



厚生労働省大臣官房長

大島一博



公益社団法人
地域医療振興協会

山田隆司

介護保険導入前夜の1999年。当時の厚生省老人保健福祉局では、政省令の作成や制度移行の作業に追われていました。そんなある日、職場で「契約特養」と介護保険の関係が整理できていないのでどうすべきかとの相談を受けました。瞬く間に疑いました。

施行前に契約の特養なんて存在するはずがない。費用負担は?自治体の認可は?根拠法令は?沢山の疑問が湧いてきました。

「契約特養」は、設備や運営の基準は特養以上(全室個室OK)、費用は全額自費(相当高額)、利用は自治体による措置ではなく当事者間の契約。法令に基づき通知で要綱を定めていて、全

国に数ヵ所ある(注:私の記憶が不確かです)、と係から聞き、どうやらこの世に存在することは

頭に入りました。そうなると今度は経緯が気になります。いったい誰がそんな(絶対ありえない)仕組みを作ったのか?中村秀一さんでした。そしてその源にあるのが、新生会、石原美智子さんでした。契約という対等な関係に

よつて、利用者の真のニーズがわかる、サービスの質が上がる、これが目的。そして新生会ではうまくいっていると知り、心底驚きました。こんな突き抜けた現場

卒業して2年間の初期研修を終え義務として赴任したのが当時の久瀬村(現揖斐川町)でした。早々に医師会の会合にもお招きいただきました。こんな突き抜けた現場

いたましたが、当時の医師会長が今村勲先生でした。医師として前も後ろもわからない頃、徹底した現場主義を見た思いでした。こんな突き抜けた現場

卒業して2年間の初期研修を終え義務として赴任したのが当時の久瀬村(現揖斐川町)でした。早々に医師会の会合にもお招きいただきました。こんな突き抜けた現場

いたましたが、当時の医師会長が今村勲先生でした。医師として前も後ろもわからない頃、徹底した現場主義を見た思いでした。特に冬場の往診の苦労話など、ご自身がこれまで山間部の医療に尽くして来られたことを慈悲深い眼差しで語られた光景は今でもはっきりと覚えていました。

その後縁あって石原美智子先生と近しくお付き合いさせてもらうことができ、さらに進化した質の高い介護サービスのあり方を学ばせていただいています。

人口減少、超高齢化、コロナ禍と我々を取り巻く環境は以前にもまして困難な状況と言えるかもしれません。しかし今村勲先生、石原美智子先生、そして現理事長の今村寧先生と常に県内の老人福祉をリードし続ける新生会のパワーはこんな時こそさらにはるるものだと信じております。新生会の更なるご発展を祈念しております。



公益社団法人
地域医療振興協会

山田隆司

45年歩み



慶應義塾大学大学院
健康マネジメント研究科教授

堀 田 愛 子



彼方舎 映像製作・演出

佐藤斗久枝

介護保険の目的にも明記された「尊厳の保持と自立支援」を、目の前のお一人おひとりについて、一人ひとりの職員が、たゆまず追求する——。

一見あたりまえのことが、まづ生活の土台となる生理的欲求が満たせているか、生活行為に着目したアセスメントとチームケアあつてこそ可能になるということ。

故・池田省三先生の手引きで初めて新生会をお訪ねしてから10数年。多くの事業所の門を叩き、時に職員さんのお話を伺い、時にケアを観察し、時に新たなチャレンジに伴走、のちに評議員の末席に加えていた。

先週と／去年と同じこと、ではなく、公的な制度や事業が始まる／変わるから、でもなく、日々揺れ動くその方の思いや心身の状況、変わりゆく暮らしの場・地域のなかでこれを続けることが、いかに創造的でワクワクすることなのか。ではなかと思つてゐる。

4

それが、いかに利用者・入居者はもちろんのこと、職員さんや地域の方々の力の発揮につながり、やがて文化になつていくのか。

サンビレッジ新生苑45周年、おめでとうございます。

私が初めてサンビレッジを訪ねたのはドキュメンタリー映画製作の1スタッフとしてで、「終りよければすべてよし」羽田澄子監督)、ちょうど30周年を迎える年でした。その時、強く心に残ったのは「ケアの専門性」ということ。そして、「願わくば自分や家族がこんなケアを受けたい」ということでし

ア」の根本には、創業から変わらぬ理念が脈々と受け継がれ、現場でまさに“活かされて”いるんだ、と気づきました。

4

祝辞

45年歩み

故・池田省三先生の手引きで初めて新生会をお訪ねしてから10数年。多くの事業所の門を叩き、時に職員さんのお話を伺い、時にケアを観察し、時に新たなチャレンジに伴走、のちに評議員の末席に加えていた。

先週と／去年と同じこと、ではなく、公的な制度や事業が始まる／変わるから、でもなく、日々揺れ動くその方の思いや心身の状況、変わりゆく暮らしの場・地域のなかでこれを続けることが、いかに創造的でワクワクすることなのか。ではなかと思つてゐる。

その後、サンビレッジを舞台にいくつかの映像作品を作るために、サンビレッジの歴史をたくさんの学びの機会をいただいて、偉大なるあたりまえの積み重ねこそが、新生会の積み重ねがよいケアとなり、利用者を、地域を、社会を支えてくれている。私は、日本に生きる、いざれ老いる一人の人間として、理想を掲げて歩み続けるサンビレッジの一人一人の方々に心からの敬意を表し、深く感謝いたします。

これからも、サンビレッジが益々発展していくことをお祈り申し上げます。

45年 の歩み



社会福祉法人 新生会

名譽理事長 石原美智子

45年前を振り返ると、初代理事長と毎晩夢を語り合い、その

勢いのままにサンビレッジ新生苑が誕生したことをありありと想
い出します。私はまだ若く経験もなかつたので口ばかりでしたが、
父は時代がまだ早かつたため、周囲の冷ややかな反応や、土地、
財源などに大変な苦労をしながらの夢の実現でした。

創設から2年ほどで施設長として現場に参加するようになつ
て、私たちが毎晩語り合っていた「自分が入つて満足できる施設」
と現場の状況は必ずしも一致していたとは言えませんでした。車
いすが玄関に見世物のように2、3台置いてある、おむつ交換は
1日に5回と決められているなどなど。

私が幸運だったのは、間もなくオーストラリアに行って福祉の
実態や人に対する尊厳のあり方を体験ができたことです。すぐに
職員をオーストラリアへ研修に毎年送り出し、皆で学びを深めて
いきました。

まだ措置費の時代で、利用者の要介護度に関係なく単価が統
一されていたので、重度の要介護者を避ける施設もありましたが、
私たちは使命に忠実に認知症の方や重度の要介護者も積極的に
受け入れ、遣り繰りをして徘徊付き添いパート、水分補給バー
トなどと呼ばれる人も採用しました。在宅への取り組みも始め、
余計なことと行政から叱られたこともあります。

サンビレッジ新生苑の取り組みは、新聞やテレビ、そして映画
でも紹介され、見学者も多く、講演や研修、各種の委員会など
の依頼などで全国に出向くことも多くなり、夜勤報告に間に合
うようにとんぼ返りの日々もありました。また、施設での取り
組みを本などで紹介もしました。

措置の時代に自由契約特養を創り、戸建ての有料老人ホーム
を、岐阜駅前のビル内に1泊2日単位の部屋を、2ユニットの
壁をとつて1つにする施設を、多床室の料金で入居で
きる個室を創りました。学校も開校しました。その他
にも株式会社で訪問介護や
保育などの事業、NPO法
人で地域づくりも心がけま
した。

介護保険制度も出来ま
したが、社会福祉事業の本
質を考え続け、職員一人一
人の理念の共有や、チー
ムでの仕事の仕方を今も模
索し続けています。



▲羽田澄子監督と

祝 創立四十五周年

創立四十五周年記念式の舉行おめでとうございます。

時流は早く少子高齢化は一層加速し超高齢化社会の到来です。新生会様、サンビレッジ様は福祉施設として又介護支援施設の拡張として今後更に重要な位置にあります。貴会の益々のご発展をお祈りします。

池田町長岡崎和夫

あれからもうもう立年がすり減りました。
これからより、未永くお目出とくと申しあげます
事とおいります。
新蓮日赤奉仕団もボランティア活動にはぜひ一生
懸命頑張りたいと想います。

池田町日赤奉仕団委員長 西田照江

祝 創立四十五周年

すべての大切なかけがえのない人生を支えるため、長きに渡り、様々な形で高齢者福祉等の推進に多大な貢献をされてこられましたことに深く敬意を表します。また、新生会様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

池田町議会議長 白井 幹夫

創立四十五周年 誠におめでとうございます。

「住み慣れた町で安心して暮らしたい」高齢化社会を迎えて誰もがそう思っています。そんな思いを応援し、支援してくださるサンビレッジさんが身近にあるという事は私たちの誇りであり、この上無い安心感となつて、みんなと繋がっていると思います。高齢化社会の福祉を支える柱として、我らの味方として、さらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

池田町民生児童委員協議会
会長 竹中 行雄

創立四十五周年 誠におめでとうございます。

貴会の人材育成への高くゆるぎない理念に共感し、人材育成の連携協定を結んでいただきました。サンビ校は飛騨市の学校です。熱意に満ちた先生方と想いを共にし、市の将来を担う人材が育成できることに感謝申し上げます。貴会が今後も益々この業界をリードされ、発展されますことをお祈り申し上げます。

飛騨市長 都竹 淳也

創立四五周年　おめでとうございます。

目の前にいらっしゃる利用者さん、困っている人に何ができるかを現場で考えることが、

「誰ひとり取り残さない社会」の実現のために必要なことだと痛感しています。共にそうした地域をつくっていきましょう。

吉川一子

新生苑設立四五周年、そして介護保険から二〇年。

介護現場は進化しつづけています。だから目が離せません。

新生苑はその進化の先頭を走り続けてきました。制度を生かすのはひと。そのひとを信じていられるから、制度を信頼できるのです。

東京大学名誉教授

工藤千鶴子

創立四十五周年、誠におめでとうございます。

人間の尊厳とは何かという命題に真に向き合い、介護のあり方を模索し続けている社会福祉法人新生会は私達北養会の素暗しき先輩、今までの歩みに感謝しこれからの益々のご発展に期待をしております。

社会福祉法人北養会理事長 大久保泰子

創立から四十五年、誰もが幸せに生きる権利を守り、地域福祉の発展のために前進してこられた役職員の皆さんに心からお祝いを申し上げます。新生会様が継承してこられた「理念」が、これから多くの人々の暮らしを支え、法人として更に発展されることをお祈りしています。姉妹施設として、これからも宜しくお願ひ致します。

社会福祉法人きらくえん 土谷千津子

創立四十五周年を迎えられ心よりお祝い申しあげます
コロナ禍で介護現場において勤務されている職員の皆さんに感謝と敬意を表したいと思います。
また、職員の待遇向上と教育研修に力を注ぎ、日本一のサービスの質を構築されたサンビレッジの名誉理事長の石原さんに敬服を致します。

社会福祉法人ノテ福祉会 理事長 対馬徳昭

社会福祉法人うねび会
理事長 酒井宏和

寄せ書き

西暦	月
(昭和五二) 一九七六 四月十五日	サンビレッジ 一般史
一九七八 五月九日	今村勲を理事長としてサンビレッジ新生苑創立
一九七九 四月八日	開苑式(定員100名)
一九七九 四月八日	在宅独居老人を招待し、食事会
一九七八 五月九日	台風17号で長良川が決壊
一九七八 五月九日	石原美智子施設長就任
一九七八 五月九日	機関紙「陽の里」第一号発行
一九七八 五月九日	ボランティアコーディネーター配置
一九七八 五月九日	増床(全110床)
一九七八 五月九日	在宅老人のための入浴サービス開始
一九七八 五月九日	職員のオーストラリア研修始まる
一九七八 五月九日	ショートステイ開始
一九七八 五月九日	徘徊老人のデイサービス開始
一九七八 五月九日	訪問看護を独自に始める
一九七八 五月九日	ボランティアスクール開校
一九七八 五月九日	介護者教室独自に開く
一九七八 五月九日	「私のオーストラリア」発行
一九七八 五月九日	痴呆老人が安心して暮らせる町づくり推進委員会発足
一九七八 五月九日	県下初の障害者専用列車「ひまわり号」が走る
一九七八 五月九日	迷い老人の保護で池田町有線放送と連携
一九七八 五月九日	日航機墜落
一九七八 五月九日	新生苑創立10周年記念式典
一九七八 五月九日	現世に老人の極楽を(10年の歩み)発行
一九七八 五月九日	「生きててよかった」発行
一九七八 五月九日	男女雇用機会均等法施行
一九七八 五月九日	デイサービスセンター開設
一九七八 五月九日	痴呆専用棟すずらん棟完成(130床)
一九七八 五月九日	他施設と姉妹提携を結ぶ。その後「コアラ会」となる。
一九八〇 五月九日	昭和天皇の「大喪の礼」行われる
一九八〇 五月九日	消費税スタート
一九八一 五月九日	安心して老いるために」公開
一九八一 五月九日	新生苑創立15周年記念式典
一九八一 五月九日	「あつたかい手と手」発行
一九八一 五月九日	在宅介護支援センター開設
一九八一 五月九日	配食サービス開始
一九八二 五月九日	
一九八三 五月九日	
一九八四 五月九日	
一九八五 五月九日	
一九八六 (昭和六〇)	
一九八七 四月	
一九八八 四月	
一九八九 四月	
平成元 四月	
一九九〇 四月	
一九九一 四月	
一九九〇 七月	
一九九一 七月	

十二月	一〇〇四	一〇〇五	一〇〇六	一〇〇七	一〇〇八 (平成一〇)	一〇〇九 (平成一〇)	一〇一〇 (平成一〇)	一〇一一 (平成一〇)	一〇一二	一〇一二
十一月 十二月一日	新潟県中越地震発生	グループホーム「もやいの家泉」開設	サンビレッジ宮路開設(弥生・ちゃんばば)	サンビルズヴィラ・アンキーノ開設	グループホーム「もやいの家」を藤代地区で開設					
十一月 十二月一日	新生苑創立30周年記念式典	【尊厳を支えるケアをめざして】発行	【サンビレッジ大垣】開設	【サンビレッジ大垣】開設	【サンビレッジ大垣】開設					
十一月 十二月一日	「尊厳を支えるケアをめざして」発行	【ユニット型個室】	【コスモスの家】開始	【コスモスの家】開始	【コスモスの家】開始					
十一月 十二月一日	痴呆老人が安心して暮らせる町づくり推進委員会発足	チユーリップ東側の個室への改修工事	認知症デイサービス「もやいの家津村」開始	岐阜シティータワー43「サンビレッジ岐阜」開設	岐阜シティータワー43「サンビレッジ岐阜」開設					
十一月 十二月一日	「生きててよかった」発行	小規模多機能「もやいの家 藤代」開設	【もやいの家】藤代	トータルサポートセンター開始	トータルサポートセンター開始					
十一月 十二月一日	男女雇用機会均等法施行	「あつたかい手と手」DVD化	「あつたかい手と手」DVD化	【ケアサポートセンターつづみ】開始	【ケアサポートセンターつづみ】開始					
十一月 十二月一日	デイサービスセンター開設	短時間巡回型訪問介護開始(モデル事業)	サンビレッジ福祉フェアをサンビレッジ校で開催	ランドリーサービス開始	ランドリーサービス開始					
十一月 十二月一日	痴呆専用棟すずらん棟完成(130床)	サンビレッジ福井フェアをサンビレッジ校で開催	【陽の里めぐり】DVD完成	【陽の里めぐり】DVD完成	【陽の里めぐり】DVD完成					
十一月 十二月一日	他施設と姉妹提携を結ぶ。その後「コアラ会」となる。	「もやいの家瑞穂」開設	東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)	東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)	東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)					
十一月 十二月一日	迷い老人の保護で池田町有線放送と連携	石原美智子名譽理事長就任	石原美智子名譽理事長就任	石原美智子名譽理事長就任	石原美智子名譽理事長就任					
十一月 十二月一日	日航機墜落	今村寧理事長就任	今村寧理事長就任	今村寧理事長就任	今村寧理事長就任					
十一月 十二月一日	新生苑創立10周年記念式典	新生苑創立35周年記念式典	新生苑創立35周年記念式典	新生苑創立35周年記念式典	新生苑創立35周年記念式典					
十一月 十二月一日	「生きててよかった」発行	「私のヨーヨー・マ」発行	「私のヨーヨー・マ」発行	「私のヨーヨー・マ」発行	「私のヨーヨー・マ」発行					
十一月 十二月一日	男女雇用機会均等法施行	なでしこジャパンワールドカップ優勝	なでしこジャパンワールドカップ優勝	なでしこジャパンワールドカップ優勝	なでしこジャパンワールドカップ優勝					
十一月 十二月一日	デイサービスセンター開設	「もやいの家 藤代」から市橋に移転し 「もやいの家 市橋」として開始	「もやいの家 市橋」として開始	「もやいの家 市橋」として開始	「もやいの家 市橋」として開始					
十一月 十二月一日	痴呆専用棟すずらん棟完成(130床)	「リハビリセンター白鳥」開設	「リハビリセンター白鳥」開設	「リハビリセンター白鳥」開設	「リハビリセンター白鳥」開設					
十一月 十二月一日	他施設と姉妹提携を結ぶ。その後「コアラ会」となる。	サンビレッジほづみ駅前」開設	サンビレッジほづみ駅前」開設	サンビレッジほづみ駅前」開設	サンビレッジほづみ駅前」開設					
十一月 十二月一日	迷い老人の保護で池田町有線放送と連携	快晴童子除幕式(サンビレッジ岐阜5周年祭)	快晴童子除幕式(サンビレッジ岐阜5周年祭)	快晴童子除幕式(サンビレッジ岐阜5周年祭)	快晴童子除幕式(サンビレッジ岐阜5周年祭)					

一九九一 （平成五）	七月	オーストラリアのQECと姉妹提携する ソ連邦消滅
一九九二 （平成六）	四月	石原美智子理事長就任（施設長兼務） サンビレッジ新生苑創設者・今村勲前理事長死去
一九九三 （平成七）	五月	毛利さんスペースシャトルで宇宙飛行 苑内保育たんぽぽ保育園開設
一九九四 （平成八）	六月	皇太子と小和田雅子さん御成婚
一九九五 （平成九）	七月	厚生省のモデル事業として自由契約特養 「今村勲記念館」開設（全160床）
一九九六 （平成十）	八月	老人訪問看護ステーション開設
一九九七 （平成十一）	九月	女性宇宙飛行士 向井千秋さん誕生
一九九八 （平成十二）	十月	阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件
一九九九 （平成十三）	十一月	サービス評価委員会発足
二〇〇〇 （平成十四）	十二月	薬害エイズ HIV訴訟和解
二〇〇一 （平成十五）	一月	新生苑創立20周年記念式典
二〇〇二 （平成十六）	二月	太陽の村から 発行
二〇〇三 （平成十七）	三月	サンビレッジ福祉専門学校開校 「痴呆性老人の生活対応マニュアル施設編」発行
二〇〇四 （平成十八）	四月	E型デイサービスセンター新設厨房増改築
二〇〇五 （平成十九）	五月	英国で世界初のクローン羊誕生 ケアプランなるほどヒント集 発行
二〇〇六 （平成二十）	六月	消費税5%にアップ
二〇〇七 （平成二十一）	七月	聖女マザーリテレサ死去 臓器移植法が施行
二〇〇八 （平成二十二）	八月	長野で冬季オリンピック開催
二〇〇九 （平成二十三）	九月	サンビレッジ国際医療福祉専門学校 校名変更
二〇一〇 （令和元年）	十月	QEC最高経営責任者マイケル・スカーレット氏来苑 OJT研修始める
二〇一一 （令和二年）	十一月	東西の一二階にサロンを増築 捐斐広域ケアマネジメントセンター受託 赤いポストを施設内に設置
二〇一二 （令和三年）	十二月	制服を私服化する 電子手帳導入とオンライン化する ユニット式デイセンター「あじさいの家」開設 シドニー五輪女子マラソンで高橋尚子選手が金メダル グープホーム「木もれびの家」（定員6名）開設 すずらん棟でユニットケア「なごみ」開始 ワールドカップ日本韓国史上初の共同開催で開幕



二〇一三 （平成二五）	十月	青色LEDで赤崎勇・天野浩・中村修二の三氏がノーベル物理学賞を共同受賞
二〇一四 （平成二六）	十一月	新生苑創立40周年記念式典
二〇一五 （平成二七）	一二月	岐阜県介護人材育成事業者認定制度 サンビレッジ新生苑中庭リニューアル、紫陽花ホール完成
二〇一六 （平成二八）	三四月	サンビレッジ国際医療福祉専門学校20周年、サンビレッジ大垣10周年
二〇一七 （平成二九）	五月	温咲カフェ開催 マインバンバ制度スタート
二〇一八 （平成三十）	六月	新生苑創立20周年記念式典 中庭外構改修工事開始
二〇一九 （令和元年）	七月	岐阜県介護人材育成事業者認定制度 サンビレッジ新生苑中庭リニューアル、紫陽花ホール完成
二〇二〇 （令和二年）	八月	サンビレッジ瑞穂 ケアマネジメントセンター開設 「グレード1」認定証授与
二〇二一 （令和三年）	九月	RUN伴十みずほ2018 開催 業務のICT化
二〇二二 （令和四年）	十月	メディケアシステムの導入 眠りスキャン導入
二〇二三 （令和五年）	一一月	岐阜県介護人材育成事業者認定制度 RUN伴十みずほ2018 開催

二〇二四 （令和六年）	一二月	山中伸弥氏「IPS細胞」でがノーベル生理学・医学賞受賞 「2020年 東京オリンピック」開催決定 新生苑創立25周年記念式典 あいはぶあどりーむ発行 ワールドカップ日本韓国史上初の共同開催で開幕
二〇二五 （令和七年）	三四月	青色LEDで赤崎勇・天野浩・中村修二の三氏がノーベル物理学賞を共同受賞
二〇二六 （令和八年）	五六月	新生苑創立40周年記念式典 中庭外構改修工事開始
二〇二七 （令和九年）	七八月	岐阜カフェ開催 マインバンバ制度スタート
二〇二八 （令和十年）	九月	新生苑創立20周年記念式典 サンビレッジ新生苑中庭リニューアル、紫陽花ホール完成
二〇二九 （令和十一年）	一一月	岐阜県介護人材育成事業者認定制度 サンビレッジ瑞穂 ケアマネジメントセンター開設 「グレード1」認定証授与
二〇三〇 （令和十二年）	一二月	岐阜県介護人材育成事業者認定制度 サンビレッジ新生苑中庭リニューアル、紫陽花ホール完成



お祝いの言葉

利用者家族代表 松村久美子

創立45周年おめでとうございます。また、感染症対策に日々向き合い利用者と家族を支えていただき心から感謝申し上げます。

バラ棟に入居した当初、母は意思疎通ができず感情表現も失っていました。しかし落ち着いた暮らしの中で笑顔が戻り、元来のおしゃべりな母に会えるようになったことは何より嬉しいことでした。

昨年は面会制限となり気落ちしているかと思いましたが久しぶりに会った母は拍子抜けするくらい変わりませんでした。みなさんがいつもの暮らしを続けてくださったおかげです。本当に頭の下がる思いがいたしました。身体は不自由になった母ですがここで新しく生きてています。

これからもよろしくお願ひ申し上げます。



利用者代表 竹中高己

社会福祉法人新生会様、45周年を迎えるにあたり心よりお祝い申し上げます。皆様の日頃からの努力によって我々も安心して過ごすことができてあります。

介護の仕事も人手が少なくなる中で、日本人だけではなく留学生の力が必要になってくるかと思います。私自身も、白鳥で様々な学生と関わり、未来の介護を担う人材育成にこれからも努めていきたいと思います。これから先、各施設あるいは病院等に勤務されていくと思いますがコロナウイルス感染症にはご留意いただき頑張ってください。

今後の事業計画 (新生病院改築工事)

池田町唯一の病院である新生病院が開院して既に75年が経過しております。その間、随分と地域社会も変容し、現在は超高齢社会、人口減少社会の真っ只中にあります。

今後、この池田町をはじめとした西濃地域における必要な役割を検討する中で、健康増進・福祉との連携、在宅医療・介護サービスの拡充であろう、との考えに至りました。こうした役割を具現化する為に、健診センター・や総合情報連携室を設置してまいります。ここでは、縦割を排除し、医師も看護師もパラメディカルも、保健師やソーシャルワーカー、ケアマネジャー、ヘルパーも同じ立ち位置で、患者・利用者本位、家族本位の医療・介護サービスの提供を目指していくきます。

既に第一期工事は始まっており、本体工事を終えてリニューアルされた新生病院の開院を2023年春に予定しております。工事期間中は何かとご不便、ご迷惑をお掛けいたしますことをお詫び申し上げます。

今後の新生グループの展開を是非、ご期待くださいませ。



ホームページもチェック!
各エリア、トピックス、ブログ
毎月更新しております。

<https://www.sun-village.jp/>